



岩寄博論
武蔵野美術大学 クリエイティブイノベーション学科 教授
ビジネスデザイナー

リベラルアーツと建築・都市デザインを学んだ後、博報堂においてマーケティング、ブランディング、イノベーション、事業開発、投資などに従事。2021年より武蔵野美術大学クリエイティブイノベーション学科に着任し、ストラテジックデザイン、ビジネスデザインを専門として研究・教育活動に従事しながら、ビジネスデザイナーとしての実務を行っている。

ビジネス×デザインのハイブリッドバックグラウンド。著書に『機会発見-生活者起点で市場をつくる』（英治出版）、共著に『パーパス「意義化」する経済とその先』（NewsPicksパブリッシング）など。イリノイ工科大学Institute of Design修士課程修了、京都大学経営管理大学院博士後期課程修了、博士(経営科学)。



志水新
デジタル庁 デザイナー兼政府DX戦略チーム担当

デジタル福祉機器のスタートアップ、デザインファーム、大手IT企業、DXコンサルティング企業において、幅広い領域のデザイン活動に従事。米Parsons DESIS Labの客員研究員を経て、NPO法人PolicyGarageの立ち上げに参画。GovTechスタートアップやソーシャルベンチャーのデザイン顧問や、特許庁I-OPENプロジェクトのデザインサポーターなど、トライセクターで活動中。デジタル庁では、官公庁職員800人規模の「サービスデザイン研修」、「政策データダッシュボード(β版)」の開発、「デジタル庁設立1年の活動報告」などのコミュニケーション戦略と実施を担当。



田村大
株式会社リ・パブリック共同代表、株式会社UNAラボラトリーズ共同代表

神奈川県生まれ。幼少期を福岡県・小倉で過ごす。東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。新卒で博報堂に入社後、デジタル社会の研究・事業開発等を経て、株式会社リ・パブリックを設立。欧米・東アジアのクリエイティブ人脈を背景に、国内外で産官学民を横断した社会変革・市場創造のプロジェクトを推進している。鹿児島県薩摩川内市の「循環経済産業都市宣言」など、地方自治体のグランドデザインにも関与。2014年、福岡に移住。現在、九州大学、北陸先端科学技術大学院大学にて客員教授を兼任。



小山田那由他

株式会社コンセント
サービスデザイン事業部 ストラテジックデザイングループ マネージャー
サービスデザイナー / コンテンツデザイナー

エディトリアルデザイナーとしてコミュニケーションデザインに従事したのち、デザイン思考、コンテンツデザインのスキルを生かしサービスデザイナーとして企業・行政のサービス開発・改善やデザイン組織化支援を支援。著書に『これからのデザイン思考』（MdN）、『Service Design Impact Report : Public Sector』『Service Design Impact Report : Health Sector』（Service Design Network）監訳、等コンテンツデザインによるデザインをひらく活動を行う。PUBLIC DESIGN LAB. 責任編集。
武蔵野美術大学ソーシャルクリエイティブ研究所客員研究員。HCD-Net認定 人間中心設計専門家。